

トヨカネツ(株)アンモニアタンクの納入実績

1. 弊社の最近の気候変動対策に向けた取り組み

弊社は、2019年に重要経営課題として10項目のマテリアリティを設定し、統合報告書の発行等、当該事業内容の情報開示に努めてきております。

10のマテリアリティの中で最重要課題は、「気候変動による事業環境変化に対する対応」であり、大型液化水素貯槽の研究開発等に取り組んできております。

2. アンモニアタンクを巡る最近の状況

2021年2月に取りまとめられた「燃料アンモニア導入官民協議会中間とりまとめ」において、事業者における貯蔵技術に関する取り組みが期待されています。

(参考：燃料アンモニア導入官民協議会中間とりまとめ(抜粋))

「(2-3) 輸送・貯蔵技術における事業者の取組

燃料アンモニアの需要拡大に対応するためには、製造設備の拡大に加え、輸送・貯蔵分野における大規模化や高効率化も必要となる。そこで、2030年までに燃料アンモニアのための迅速かつ低コストでの導入に向けた海上タンク(浮体式貯蔵バージ)の開発や、導入量の拡大に対応するためのタンクや船舶の大型化、国際間輸送の安定化に資するアンモニア専用輸送船の開発、国内でのアンモニアの流通を進めていくための体制整備等を進める。」

3. 弊社におけるアンモニアタンクの納入実績

(1) 大型タンク

当社は、平底円筒型の液化アンモニアの大型タンクにつき、中東、北アフリカ、南アジアにて7件の納入実績があり、2000年以降も、イランにおいて、2万トン級のアンモニアタンク3基の納入実績があります。

(2) 球形タンク

また、当社は、国内、及び、中国において、数百トン級の球形タンク5基の納入実績があります。

4. 今後の取り組み

弊社は、大手ゼネコン様との共同研究により低温タンクの工期短縮を目的として「側ライナー型枠工法」を開発しており、アンモニアタンクにおきましても工期短縮によるコスト削減が期待できます。

今後とも気候変動問題への対応に向けて、弊社の有する大型低温タンクの技術力を最大限に活用し、国内外におけるアンモニアタンクの普及に向けて、関係業界とともに尽力して参ります。

以上

【お問合せ先】コーポレート本部 執行役員 経営企画部長 國友 宏俊

TEL : 03-5857-3333

メールによるお問い合わせはこちらから

<https://www.toyokanetsu.co.jp/contact/>